

災害復興

女川町(宮城県)

2011年に発生した東日本大震災は、被災地域が広範囲に及んだだけでなく、津波による浸水被害も重なり、未曾有の被害をもたらしました。大規模都市開発のノウハウを持つUR都市機構は、甚大な被害を被った自治体のひとつである女川町とパートナーシップ協定を締結。

所在地：宮城県牡鹿郡女川町 地区面積：約277ha

市街地を盛土で嵩上げすることによる安全な街の整備、住まいの高台移転、災害公営住宅の建設(6地区561戸)などを行い、町全体の復興事業を包括的に支援しています。



Japan
2018年度グッドデザイン賞
平成30年都市景観大賞(都市空間部門)
2018年 全建賞(住宅部門)
2014年度グッドデザイン・復興デザイン賞
2014年 第48回SDA賞入選
2014年 街中グッドデザイン賞 審査委員特別賞



被災前の女川町中心部(2010年7月)

提供:女川町



にぎわいを取り戻した女川町中心部



被災直後の女川町中心部(2011年4月)

提供:女川町



UR都市機構が建設した災害公営住宅(女川町営運動公園住宅)

撮影:新建築社写真部

